



戸田ヶ原 リポート

秋に行ったイベントの様子を紹介します



とだがはらでフクロウのクリスマスリースをつくろう

とだみちゃん出張授業「戸田ヶ原と生物多様性」@イオンモール北戸田

10月3日にイオンモール北戸田のイベント『戸田市のホットな自然と魅力を再ハッ見!』の一つとして、とだみちゃん出張授業「戸田ヶ原と生物多様性」を行いました。合計39人が参加し、とだみちゃんと一緒に楽しく学びました。



午前・午後の2回行いました



戸田ヶ原・生物多様性クイズ



とだみちゃんグッズをプレゼント

とだがはらでフクロウのクリスマスリースをつくろう

11月27日に戸田ヶ原サクラソウ園で、オギの穂や木の実、草のツルなどを使い、フクロウのクリスマスリースづくりを行いました。14組の親子が参加し、フクロウやリースを作りながら戸田ヶ原の自然に親しみを深めました。



オギの穂の採集体験



オギの穂でフクロウづくり



クズのツルを丸めてリースにします

オギとヨシ



オギの穂が揺れる「戸田ヶ原サクラソウ園」(10月末のようす)

10月から12月にかけて、戸田ヶ原サクラソウ園では、一面にオギの白い穂を見ることができます。人の背丈よりも高くなるオギは、夏のあいだ日陰をつくり、サクラソウを夏の暑さから守る大切な役目を持っています。オギの穂はススキの穂とよく似ていますが、オギはススキよりも湿った場所に生えることから、昔から戸田ヶ原にはオギが多く生えていたと考えられます。オギの奥には、茶色いヨシの穂が見えます(上の写真)。ヨシは、オギよりもさらに湿った場所を好む植物で、水辺で見られます。戸田ヶ原サクラソウ園では微妙な環境の違いに応じてさまざまな植物が、範囲を広げたり、狭めたりしています。

江戸時代や明治、大正時代には、牛馬の餌や、かやぶき屋根の材料にするために、冬にオギやヨシが刈られ、春にサクラソウの咲く草地在維持されてきたと考えられます。戸田ヶ原サクラソウ園でも、1月に入ると、春のサクラソウの開花に向けて、オギやヨシの刈り取りを行います。刈り取りの前に、冬の戸田ヶ原を見にお出かけください。



オギの穂



ヨシの穂



大正9年の戸田ヶ原(戸田市立郷土博物館 島田コレクション)

「戸田ヶ原さくらそう植え付けイベント2022」のおしらせ

戸田ヶ原サクラソウ園にサクラソウを植え付けます。「とだみちゃん」も登場予定。参加者プレゼントもあります。

1月から広報戸田市(1月号)や市のホームページで参加者を募集します。ぜひ、ご参加ください!

日時: 2月13日(日) 午前10時から正午 雨天時は2月20日(日)に順延
 場所: 彩湖・道満グリーンパーク内 戸田ヶ原サクラソウ園
 募集人数: 50名 ※先着順 新型コロナウイルス感染症の状況や天候により、中止・日程変更になる場合があります。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、彩湖・道満グリーンパークに来園の際は体調管理、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス(2m)にご協力ください。



JR埼京線またはJR武蔵野線
 武蔵浦和駅より「下巻目 行」バス乗車
 「彩湖・道満グリーンパーク入口」
 下車徒歩13分

JR埼京線 北戸田駅より
 tocoバス美笹循環乗車
 「道満」下車徒歩12分



戸田ヶ原自然再生キャラクター とだみちゃん

